

※このまま印刷して、参加者に配布します。

令和7年度 倉 真 地区集会 地区別テーマ

開催方法 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。

☐ ワークショップ

☒ 質問や要望に対する報告と意見交換

地区別テーマ

「持続可能な倉真地区の在り方について」

- ・ 倉真地区の人口の減少、児童の減少

テーマ選定理由

- ・ 全国的に進む高齢化、少子化により、倉真地区でもその波は変わらずに人口の減少が進んでおり、児童の数も年々減少している。倉真小学校の児童数をみると今年度は卒業生より入学生が一時的に増えたことで全校児童数は増えたものの、確実に減少していく事が明らかになっている。令和12年には西郷小学校に統合される計画だが、現状では西郷小学校の児童数が多くて教室の確保ができず、統合されても当面は倉真小学校に通うといった話がでてきている。統合ありきの学園構想には無理があるように思う。
- ・ また、防災の関係でみると、倉真小学校は広域避難所に指定されており、地区住民の300人～400人の避難が想定されている（自主防災会長倉真地区会議で確認中）。それを学園化構想で中学校に小中一貫の校舎を建てまとめていくようだが、大規模地震に見舞われた際に、中学校区を広域避難所とするには収容や体制で無理がある。

具体的な進め方または提案等

- ① 小学校および中学校の定員数と児童・生徒数はどのようになっているのか。また、各小・中学校の区割りはどのように設定されているのか。さらに、中学校区で見た場合の各小学校の定員数と児童数についての状況を伺いたい。
- ② 中学校区内で各小学校の区割りを見直し、児童数の平準化を図ることは可能ではないか。また、児童数が少なく平準化が困難な場合、小学校の集約が必要と考えられるが、その前提として、児童数が多く小学校の規模が受け入れ困難な状態では集約は難しいと考える。この点についての見解を伺いたい。
- ③ 学園化構想については、将来的なビジョンに過ぎないと認識しているが、一気に進めるのではなく、現状からどのようなステップを踏んでそのビジョンに近づけていくのか。段階的な進め方についての考えを伺いたい。
- ④ 倉真地区では「里山留学」による児童数増加の取り組みが実績を上げているものの、課題も多いと認識している。現在、住む家がないという課題に対し、空き家調査を行いながら、市の「空き家活用モデル事業」を活用しているが、空き家を活用した移住促進などの取り組みを市としてさらに検討できないか。例えば、藤枝市の「Rashiku」のような里山団体と行政の連携方法を参考にすることも視野に入れてはどうか。

提出期日

8月開催地区

6月20日（金）まで

※このまま印刷して、参加者に配布します。

令和7年度 倉 真 地区集会 地区別テーマ

開催方法 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。

☐ ワークショップ

☒ 質問や要望に対する報告と意見交換

地区別テーマ

「持続可能な倉真地区の在り方について」

- ・耕作放棄地の増加、鳥獣被害の増加

テーマ選定理由

- ・人口減少や後継者不足の進展により「耕作放棄地」が増加している。この倉真地区におけるその面積は115haとも言われているが、近々でも小学校の周辺で発生している。昨年(R6年)は、長野県の大規模農家の方々が、倉真にある「耕作放棄地」を活用して、野沢菜やキャベツ、レタス等の野菜を作ってくれた。とりわけ倉真小学校前の田圃が「耕作放棄地」になってしまう状況でしたので、倉真地区としては大変良かったと感じている。「耕作放棄地」は放っておくと草木が生え、茂ってしまうと景観の問題もさることながら有害鳥獣の巣になってしまい、有害鳥獣の被害がさらに進んでしまう事になる。掛川市では有害鳥獣の捕獲数が全国平均を大きく上回っていて(1,000頭超)、その対策が急務と言われている。熊の被害が発生している東北、北陸、北海道も同じだが、私たちの掛川市でも緩衝帯となる中山間地の整備や「耕作放棄地」を増やさないような取組みを行って「有害鳥獣」が入ってこないようにしなくてはならないと感じている。

具体的な進め方または提案等

- ① 掛川市における「耕作放棄地」の面積はどのように推移しており、どの地域で増加しているのか。
- ② 「耕作放棄地」を減らすために、行政としてどのような取組を行っているのか。
- ③ 「鳥獣被害」や「有害鳥獣捕獲数」はどのような状況になっているのか。
(掛川市における案件数や捕獲数の推移、および地域別の状況について。)
- ④ 「鳥獣被害」を減らすために、行政としてどのような取組を行っているのか。
「鳥獣被害」を減らすだけの取組や、「耕作放棄地」を減らすだけの取組では不十分であると考え。中山間地域の整備として、「耕作放棄地」対策と、増加した「有害鳥獣」を減らすための対策の両方を連携して行う必要があると思うが、どのように考えているのか。

提出期日

8月開催地区

6月20日(金)まで

※このまま印刷して、参加者に配布します。

令和7年度 倉 真 地区集会 地区別テーマ

開催方法 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。

☐ ワークショップ

☒ 質問や要望に対する報告と意見交換

地区別テーマ

「持続可能な倉真地区の在り方について」

- ・ 県道81号焼津森線の倉真地内の道幅の拡張、
- ・ 新東名掛川パーキングにスマートインターを設置、
- ・ 新東名掛川倉真第2パーキングエリアに防災基地をはじめとした賑わいの場設置

テーマ選定理由

- ・ 倉真地区まち協の事業の一つに地区民の要望の高い「県道改良事業」があり、県土木に申請し県道の拡幅に着手している(R7年度:大宮橋の橋脚完了予定)が、先が見えない。
- ・ 県道を拡幅することにより車通り、人通りが増え、倉真地内に賑わいが出る。
- ・ 加えて新東名掛川パーキングにスマートインターができることで交通量が増え、アクセスの良さや環境資源(地域の歴史・文化)から「移住者」や「耕作放棄地活用者」が増えていく。
- ・ また、新東名掛川倉真第2PA開発事業が進みだしたようだが、災害時における防災基地拠点や賑わいの場となるような施設とし、災害にあっては県外からの支援物資等を高速道路やヘリコプターの輸送でその基地に集め、市内全域に供給できるようにする。その為に県道81号線の拡幅は市内への運搬道路として必要だと考える。

具体的な進め方または提案等

- ① 新東名掛川パーキングにスマートインターを設置することが市長の公約となっているが、その具体的な考えを伺いたい。
- ② 長間地区に工業団地が整備されているが、スマートインターはその工業団地へのアクセス(道路の拡幅を含む)を念頭に置いているのか。それとも、倉真地区の県道を拡幅することでスマートインターの利用促進を図る方針なのか。
- ③ 長間方面および倉真方面の両方を拡幅する2方向化が必要だとは考えていないのか。
(災害時など、1方向のみの道路では寸断された場合に支援物資が届かなくなる恐れがある。)
- ④ 新東名掛川倉真第2PAが、大和ハウス工業によって「中継物流拠点」として開発が進められているようだが、そこに防災基地を設置する計画は検討されているのか。
また、その場所を賑わいの場として活用する事業展開についてはどのように考えているのか。
- ⑤ スマートインターと併せて市内へのアクセス道路が整備されれば、県外からの人口流入が促進されるだけでなく、倉真地区(栗ヶ岳、倉真温泉など)、西郷地区、市内全域の観光資源を活用し、関係人口の増加につながるのではないかと考える。
- ⑥ 現在、「耕作放棄地」を長野の農家に耕作してもらっているが、県道の拡張やスマートインターの整備によって、「耕作放棄地」の活用がより容易になるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。